



# 共に支え合う地域をめざして

## 「ほっとサポートセンター」の活動

応急仮設住宅での生活が始まり3カ月が経とうとしていますが、新しい環境にとまどいや不安を感じている人もいます。町では「ほっとサポートセンター山田」(事業委託先・医療法人晃生会)を開設し、生活支援などを行いながら地域のコミュニティづくりのお手伝いをしています。

### 地区ごとに拠点を設置

町では、被災者の皆さんが安心して生活を送られるよう、民間事業者や団体などと連携した取り組みを行っています。

その中心として、山田第4仮設団地(下水道処理場予定地内)に「ほっとサポートセンター山田」を設置。▼豊間根▼大沢▼山田▼織笠▼船越の各地区にも拠点となる「ブランチ」を設置し、地域支え合い体制づくりのための事業を行っています。

各拠点には生活支援専門員が常駐。生活に関する相談や高齢者の見守りなどを行っています。

### 仮設団地での課題

仮設団地は、慣れない場所での生活である上に、各地区から

町民が入居し、今まで住んでいた地域のつながりが大きく変化してしまいます。

特に、高齢者の一人暮らしなどの場合は、お隣さんなどの交流がない、どんな人が住んでいるのか分からないなど、環境の変化が不安な気持ちの原因になることもあります。

### 支え合いのきっかけに

「ほっとサポートセンター山田」では、山田町社会福祉協議会、民生委員、NPO法人などと連携し、毎週関係機関を交えた連絡調整会議を開いて情報の共有や問題が発生した場合の解決策などを協議。また、各団体が協力しながら、住民同士の交流のきっかけとなるよう各種イベントなども行っています。



お元気ですかと声かけをする生活支援相談員

地域で安心して生活していくためには、住民同士の心のつながりが大切。「ほっとサポートセンター」は、住民の皆さんが一歩外へ踏み出し、共に支え合うためのお手伝いをします。お気軽に声をお掛けください。



仮設団地の自治会づくりの話し合いの様子



子供も大人も一緒に参加するハーモニカ交流会



お互いにマッサージを行い親睦を深めます



さんま料理を教える仮設住宅の皆さん

## 民生委員として地域づくりに協力

現在、民生委員で「お座敷広場」を開いています。毎回新しく参加される方が増え、非常にうれしくなりますね。また、住んでいた地区での参加を希望され、遠くの仮設へ迎えに行くこともあり、地域のつながりの強さを感じます。今後は仮設団地に住む人だけではなく、地域の人と一緒に参加を呼びかけ、新しい地域づくりに協力していけたらと思っています。



坂本照男さん  
(船越・73歳)

## カフェに参加し絆の大切さ実感



加藤ノブさん  
(長崎・70歳)

仮設団地で開かれるカフェに参加し、いつも楽しませてもらっています。色々な地区の人が仮設団地に入り、皆さんの頑張る姿を見ると、自分も頑張る事ができます。今回の震災では、一人では何も出来ない事を実感しました。隣近所で声を掛け合えば、年齢や性別関係なく絆が生まれると思っています。

## インタビュー

## 仮設団地の談話室・集会所の使用申し込みについて

サポート拠点	設置場所	電話番号
ほっとサポートセンター山田	下水道処理場予定地内	080-1652-9239
ほっと豊間根	石峠橋付近集会所	080-2827-8362
ほっと大沢	浜川目コミセン付近集会所	080-1652-7446
ほっとまぎと	下水道処理場予定地内集会所	080-2827-5766
ほっと町民グラウンド	町民グラウンド談話室	080-1653-0122
ほっと猿神	猿神農業担い手センター付近集会所	080-2827-8051
ほっと船越	浦の浜集会所 (田の浜、大浦地区も担当します)	080-2827-4862

仮設団地の談話室・集会所の申し込みは、11月1日から左図の各設置拠点で受け付けています。

▽受付日 月～土曜日  
▽時間 午前9時～午後4時

◆問い合わせ 町国保介護課  
介護保険係 (☎ 82-3111  
1内線134) へどうぞ。